

問い
その7

自分だけが
幸せで
よいのでしょうか。

イープラス

連研ノートE⁺

12のお話〈7〉



もり ともたか
森 智崇
研修講師

▼無関心ではいられない

私は果物が好物ですが、以前、みんなもそうだと思い込み、友人の苦笑にも気づかず、半ば強引に果物をお裾分けしたことがありました。いいことをしたとうぬぼれていた数日後、ふとした会話から友人は果物が苦手だったことを知ったのです。申し訳なさと、自分しか見えていなかったことに驚きつつ、恥ずかしさも覚えました。たまたま気づけたのですが、もし気づかなければ、今も自分だけの幸せの押し売りは続いていたでしょう。自分の姿を知らされることは恥ずかしい面もありますが、私と誰かの関係をよりよくしてい

く営みには必要なことでした。

さて、みなさんはあらためて今回のテーマを問われたとき、自分以外の誰かや社会を、漠然とですが想像しませんか。

阿弥陀さまは、すべてのものを分け隔てなく救うと願われ、喚びかけ続けてくださいます。また親鸞聖人は、阿弥陀さまの願いに照らされたご自身と向き合われ、「凡夫ぼんぷというのは、わたしどもの身には無明煩惱むみょうぼんぷが満ちみちており、欲望も多く、怒りや腹立ちやそねみやねたみの心ばかりが絶え間なく起こり、まさに命が終わろうとするそのときまで、止まることもなく、消えることもなく、絶えることもない」(現代語版『一念多念

自分だけが幸せでよいのでしょうか。



12のお話

文意』37ページと示されます。

阿弥陀さまのみ教えや、親鸞聖人のお示しにお育ていただきながら生きることは、私のあり方や、私を取り巻く社会への視点もつねに問われ、さまざまな社会問題にも無関心ではいられなくなります。それは、苦しみや悲しみに同情はしながらも、「私じゃなくてよかった」「ここじゃなくてよかった」という自らの見たくない心情に出あうことでもあります。そんな私は、どのように生きていけばいいのでしょうか。

▼「差別に心が痛んで仕方ない」

今年も台風や豪雨が、各地に大きな被害をもたらしています。そうした被災地での支援活動の際、大切に思い出す出来事があります。私が初めて参加した支援活動のことです。たまたまその現場は浄土真宗のお寺でした。行政からのボランティアが派遣されない数日間、復旧のめどもわからない不安と暑さの中、一面に川砂が覆った境内地で黙々と有志の方々と作業をしていました。

ようやくボランティアが多数来ていただいた時は、作業効率も精神的な安心も、こんなにも違ったかと思いました。しかし当時、ボランティア派遣のめどは「母屋の復旧」でした。庫裏はかろうじて生活ができるまで復旧されていたが、本堂はまだ復旧とは言い難い状況です。少しでも本堂の復旧作業を願う住職と私の横で、ボランティアの担当者は、早々に次の現場への移動を伝えています。担当者の指示に理解しつつも、悩ましい気持ちでいたその時です。

一緒に作業をしてきた方が叫んだのです。

「お寺の母屋は本堂だー」

私にとって大変心に残る言葉となりました。結局、ボランティアの人たちは移動となったのですが、その方に聞くと、これまでも誰かの大切を私の大切にして、誰かの苦しみを私の苦しみと受け止めた支援を目指し、何度も自問している、と教えてくださいました。

その方の言葉や姿勢を胸に、私の芯となるものは何かと、じっと本堂を見つめながら、今ここにはたらく阿弥陀さまの願いをあらためて聞かせていただいたことです。また、同時にお念仏を大切に生きたいと願いつつも、世間と仏事の

ことを分けた自分がいたことも知らされたことです。

ある門徒推進員の方が、新型コロナウイルス感染症に関する差別、偏見、いじめについて、「差別にとても心が痛んで仕方ないです。差別だけはしたくない。周りの友達にもその話はできそう。人の言葉や行動を否定できるような私じゃないから、笑顔でさりげなくですけど…」とおっしゃり、「阿弥陀さまに願われている私を生きていきたい」と、悩むお気持ちを何度も教えてくださいました。

また、「誰かのせいにして人を傷つける そんな自分にサヨナラしたい」という法語カレンダーの言葉にうなずかれて、「本当の

私の姿」を味わわれたお気持ちを寺報に掲載してもらったというご友人の話も教えていただきました。ご縁のある方々がそれぞれ阿弥陀さまの願いに真向きになって活動され、つながり合い、語り合っていることも随時教えてくださいます。今、阿弥陀さまに願われている真ただ中で「凡夫」と知らされながらも、み教えに導かれながら、現実の苦悩とともに聞き、語り合い、歩み続けるところに、厳しくも大切なしあわせがあると、さまざまな方を通じて教えられます。その一歩は勇気のいることかもしれませんが、しかし、お念仏をいただき、お念仏につながる中で支えられ、問われているのです。

